

白河市教育大綱 「未来を切り拓く人間力」の育成

- 1 郷土を知り、郷土を愛する人
- 2 幅広い文化・芸術に親しむ人
- 3 自ら学び、自らを高める人
- 4 自ら判断し、自ら行動する人
- 5 礼儀正しく、思いやりの心を持つ人
- 6 自然を敬い、自然を大切にすること人
- 7 健やかな体を育む人
- 8 世界にはばたく高い志を持つ人



教育目標 自信と誇りをもち 自立に向かう生徒

生徒が目指す姿

- (知) すすんで学ぶ生徒
(徳) こころ優しい生徒
(体) 逞しく生きる生徒

未来を切り拓け



第7次福島県総合教育計画 福島県で育成したい人間像

急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人

学校評価に基づく東北中学校の課題

- 1 話し合い活動を通して、自分の考えをまとめたり発表したりする力
- 2 各種検定試験への積極的な参加
- 3 SNS等の活用の自己マネジメントと情報モラルへの意識

重点1 確かな学力の向上 (すすんで学ぶ生徒)

1 わかる・できる授業の実践

- ①「問題解決的な学習」、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った学習に取り組みます。
- ②「話し合い・学び合い」をとおして、自己の考えを深める場(話を聴く姿勢)を位置づけた授業に取り組みます。
- ③学習の思考の流れが分かりやすいように板書計画を立て、理解しやすい授業を実践します。
- ④「まとめ」・「振り返り」の時間を実践します。
- ⑤校内研修を充実させるとともにICT教育の導入を図り、授業力の向上に努めます。

2 学習習慣づくりの育成

- ①朝の読書(学習)活動を推進し、読書(学習)の習慣化を図ります。
- ②授業中においては「学習7箇条」の徹底を図り、基本的な学習態度の徹底を図ります。
- ③「家庭学習スタンダード」「学習の手引き」を活用して学習習慣の確立に努めます。
- ④学校図書館を活用した読書活動を推進するため、学校司書の積極的活用と読書週間での取り組みを促進します。
- ⑤放課後学習会を実施して、定期テスト、実力テスト、全国学力調査、県学力テスト、市学力テスト対策を行います。

重点2 豊かな心の育成 (こころ優しい生徒)

1 道徳的な判断力、心情、実践意欲及び態度の育成

- ①道徳において全教職員が関わる授業の実施(授業参観時)と適正な評価の実施及び道徳教育推進教師を中心とした研修の充実を図ります。
- ②学校教育全体をとおして、体験活動や正しい判断で行動できる道徳教育を実践します。

2 個々のよさを伸ばし、認め合う集団の育成

- ①Q-Uテストを2回実施し、生徒が自己存在感や充実感を感じる「居場所づくり」に努めます。
- ②各種委員会等を通して、問題行動の早期発見、早期対応、早期解決のために組織で取り組みます。
- ③教育相談の充実と心のケアのための支援体制に取り組み、「いじめ見逃しゼロ」を目指します。
- ④不登校生徒についての相談体制を整え、SCやSSW、関係機関との連携を図ります。

3 自己肯定感を高める特別活動等の充実

- ①集団の一員としての自覚を深めさせ、生徒一人一人に自己決定や自己実現、自主性・主体性を育む特別活動等の充実を図ります。
- ②生徒が自己有用感を持ち、全体のために進んで奉仕しようとする態度を育てます。
- ③善い言動について賞賛し、「褒めて伸ばす」教育を展開します。

重点3 健やかな体の育成 (逞しく生きる生徒)

1 生涯にわたって健康を支える体力づくり

- ①新体力テストの結果をふまえ、授業や部活動等に「体力づくり」を取り入れ、基礎体力の向上に努めます。
- ②部活動(特設部を含む)への積極的な参加を奨励し、生徒一人一人の心身の健康増進と技能の向上に努めます。

2 健康で安全な生活の実現をめざす習慣づくり

- ①定期的な健康診断と保健指導の充実により、心身ともに健康な生徒の育成をめざします。
- ②性教育、食育、歯の健康などに関する知識を身につけ、自ら実践する力を育成します。(むし歯治療率アップ)
- ③「自分手帳」の活用を教育課程に位置づけ、生徒の心身の健康への関心を高めます。

3 学校、家庭での基本的な生活習慣の確立

- ①情報モラル教育を推進し、情報化社会を主体的に生きていく力を養います。
- ②家庭、地域と一丸となった交通安全指導の徹底を図り、交通事故ゼロを目指します。
- ③防災教育や放射線教育の場と機会を教育活動に位置づけ、主体的に判断し、正しく行動する態度を育みます。

重点4 家庭、地域等との連携 (地域学校協働活動事業と中学校区学校運営協議会の活性化)

1 家庭や地域社会の教育力を生かした教育活動の充実

- ①早寝早起き朝ご飯を推奨し、生活リズムの確立に向けた連携を深めます。
- ②ふくしまの「家庭学習スタンダード」を参考に家庭と連携し、望ましい生活習慣や学習習慣を身につけさせます。
- ③事故防止のため、家庭や地域との協力による学校安全体制の強化に努めます。
- ④問題行動の未然防止、早期解決のため関係機関との連携を図ります。
- ⑤部活動を行わない日(主に水曜日)を適宜設け、家庭、地域等との連携・協働を図ります。

2 地域学校協働活動事業と東北中学校区学校運営協議会の運営を推進

- ①地域の伝統や文化の継承(1学年)や地域におけるボランティア活動を充実させます。
- ②学校運営協議会を年3回開催し、意見を学校経営に活かします。
- ③学校だよりの発行、H.Pの充実、授業参観の公開等により、広く学校を理解していただく機会を設定します。